

非接触給電舗装による走行中ワイヤレス給電の実用化 (代表事業者：東亜道路工業株式会社)

1 実施内容

世界初の薄層パネル型送電コイルを用いた路面設置型の DWPT (Dynamic Wireless Power Transfer) により、低コストかつ効率的な非接触給電舗装のシステムを構築する。

○実証実験用フィールドの構築(令和7年12月)

- ・コイル貼り付け作業



- ・仕上げ（カラー舗装）作業



○受電コイル搭載ゴルフカートを使用した実証実験（令和8年1月）

・電気的特性の測定

送電コイルの電気的特性、伝送特性のバラツキを検証



・大電力での SWPT 測定

→送受電1対1で「WPT1：3.7kW」をゴルフカートを使用して実験（伝送効率：95%）

→送受電1対1で「WPT2：7.7kW」を電子負荷を使用して実験（定電圧負荷）

→ゴルフカートの定格出力3.5kWを超えない電力で測定

大電力での DWPT 測定



- ・受電コイルの位置ずれ測定（手動：伝送効率 88%）
- ・DWPT+自動運転の測定（自動：伝送効率 93%）



2 実施期間

令和6年9月から令和9年3月末まで（予定）

3 実施場所

中央防波堤エリア内 海の森水上競技場(陸上部)



4 事業実施者

東亜道路工業株式会社（代表事業者）
学校法人東京理科大学（連携事業者）
株式会社パワーウェーブ（連携事業者）